

# 2021 年度事業実績について

## 1 概要

2020年2月25日、新型コロナウイルス(以下、コロナと称する)感染拡大防止の面からJリーグが公式戦全日程の停止を決断して以来、その影響を受け続け昭和電工ドーム大分でのホーム戦はコロナ対策による入場制限(50%以下)と、併せて東京オリンピック開催等による変則日程を余儀なくされた2021シーズンでした。9勝 8 分 21 敗(18 位/20 チーム)の成績でJ1リーグ戦を終えた大分トリニータはJ2リーグ降格となりましたが、第 101 回天皇杯においてクラブ初の準優勝という栄誉をつかみ取りました。準決勝の川崎フロンターレ戦および決勝戦の浦和レッズ戦ともに激闘の末に勝ち取った名誉ある勲章であり、クラブにまた新たな記録を刻みました。

さて、大分トリニータ後援会では、2021年度実績が会員数5,761人(前年比+192人)、会費収入22,732,000円(前年比+879,000円)となり、(株)大分フットボールクラブ(以下、大分FCと称す)に対し16,000,000円(前年比+703,000円)の財政支援を実施しました。

## 2 総会・理事会等開催状況

後援会の事業計画の決定および事業実績・決算報告等のため理事会・総会を開催しましたが、コロナ感染防止対策のため第1回理事会および定期総会、第2回理事会ともに書面での提案審議となりました。

2021 年度	第1回理事会	総会議案の決定
2021 年度	定期総会	事業報告・決算報告、事業計画・予算案の決定
2021 年度	第2回理事会	「後援会員の会員番号固定化」について、 「会員証へのワンタッチパス機能の付帯」について

## 3 後援会支部活動について

佐伯支部が1月24日(日)にトキハインダストリー佐伯店で新規会員募集イベントを実施。玖珠九重支部も積極的な会員募集拡大を展開いただき、11月23日(火・祝)には同支部九重町主催で九重夢大吊橋にてパネルディスカッション(高松大樹氏・増田忠俊氏・九重町職員他)を開催しました。

## 4 選手会とタイアップした主な実施イベント

1月22日 ケーブルテレビ佐伯へのリモート生出演 高澤選手、長谷川選手

## 5 その他の主な後援会PR活動、イベント

### ① 「2021年大分トリニータ後援会 後援会DAY」開催

期 日:2021年5月2日(日) 対 清水エスパルス戦(午後2時試合開始)

内 容:①後援会会長による試合前あいさつ

### ②2020年度後援会財政支援金目録贈呈式(福本会長から大分 FC 榎社長へ)

※2020年に引き続き、福本後援会長のみでの贈呈式実施

- ③ハーフタイム抽選会の商品提供増を各所に依頼し、抽選会を充実
- ③ジュニア会員限定の抽選会実施
- ④支部会員対象バスツアー受け入れ

明治安田生命支部・佐伯支部・2011支部によるバスツアーを実施

## 6 後援会入会推進活動

- ・Webおよび試合会場での新規入会・紹介者キャンペーンの実施(7月～9月末)

### (総括)

ホームゲーム開催時には毎試合、スタジアムの北口(ゴール裏)コンコースに後援会ブースを設置して入会・ポイント追加(増口)を受付、併せてシーズンパスとの同時入会やWEB受付等も加え、一人でも多くの会員・入会口数の増加を目指してきました。ホーム開幕戦前日にコロナの感染拡大防止措置のため多大な影響を受けた2020年シーズンに対し、今シーズンは入場制限下ではありましたが無事にホーム開幕を迎える事ができました。しかしながら、当初目標(会員数6,100人、会費収入26,260,000円)未達成という結果にはなり、次年度以降も新たな会員獲得のため、入会特典の見直しや、支部会員の積極的な活動促進に取り組む必要があります。

引き続き、大分トリニータを後押しするため、まだまだコロナの影響も続く難しい状況下にはなりますが後援会員のための施策を考えていく必要があります。

各支部、各会員の皆さま方には、今後とも大分トリニータ支援の輪を広げる活動への積極的な展開へのご協力をお願いいたします。